

# ムスピの会ニュース

発行	ムスピの会
出版部	11月の月齢
下弦	11/8
新月	11/15
上弦	11/22
満月	11/30



## 宇宙生理学入門⑧ 病気は抑圧された感情で作られる

### 手軽にできる感染症対策

現代人を苦しめる病気の多くは生活習慣病であり、日々の食事や生活習慣が関係しています。しかし、過去に抑圧され続けてきた感情が募って病気を作るといふ説もあります。

カナダ・バンクーバーのカポール・マテ医学博士は「心身の病は幼少期の抑圧された感情が主な原因だ！」と言っています。つまり、潜在意識の中に蓄積された負のデータ(抑圧された感情)が病気を作り、その人が乗り越えるべきテーマと関係する臓器に症状が出ると思えることができます。

彼は「感情系」と「神経系」、「免疫系」は一つにつながっていて、「感情系」で自分の本当の感情を押し殺してしまつと免疫系が自分の細胞を攻撃するようになると言っています。その代表的な病気がリウマチや多発性硬化症、潰瘍性大腸炎などの自己免疫疾患で、自身自身の感情を抑圧し、否定するところから来ると博士は述べています。

### 女性性の否定がもたらす疾患

私も博士と同意見で、たとえば、潜在意識に「女性になんて生まれたくなかった！」という無意識の女性性への否定のデータが蓄積されると、乳房や子宮、卵巣といった女性特有の器官にトラブルが発生すると考えています。乳がんや卵巣がん、子宮がんになると、

それらの臓器を切除したり摘出したりする手術が行われますが、女性的な器官が失われることで徐々に男性化していきます。こうして無意識の願望を潜在意識が叶えるわけです。

私は、女性性の否定が関係した不調と思われる方にはスカートをはいたり、おしゃれをしたりすることをおすすめしています。女性にしかできないことをすることで、女性性への無意識の肯定になるからです。男性に交じてバリバリ働くキャリアウーマンにはズボンをはき、男性原理(競争原理)の中で頑張っている人が目立ちます。実際、そういう女性に婦人科系の病気が多いのですが、そういった方のテーマは女性性を受け入れるということです。

### がまんがガンにつながる

また、がんになる人に共通するのは、「がまん」という抑圧されたデータが募っていることです。見栄や世間体、体裁、人からの評価という外基準で生きていくと、本当に自分がしたいことを後回しにしがちです。世間から「いい人」と言われる人にもがまが多いのは、「NO」と言えない、断りきれない、本当にやりたいことを封印してきた、という抑圧された感情が蓄積されているからでしょう。

がんの種類は抑圧された感情で異なり、肝臓がんは「怒り」、肺がんには「悲しみ」、大腸がんには「自己否定」、胃がんには「不安」、膵臓がんには「自身のなさ」、膀胱がんには「経済的な怖れ」、腎臓がんには「対人恐怖」、骨がんには「恨み」の感情がたまっています。負の感情を手放すためには、潜在意識に「したくないことはNOと言つ」、自分がやりたかった事をやって

い」といふような許可を与える必要があります。

病気はその人が乗り越えるべき問題を提示さらに、目を背けたくなるが増えるると、潜在意識は見たくないものを見せないようにするため、視力障害を引き起こしたり、愚痴や悪口などを聞きたくないという意識は、徐々に潜在意識にデータされ、耳が聞こえにくいといった症状をもたらします。そして、今の情けない自分を消し去りたいという想いは認知症を招き、自分が誰であるかを忘れるように潜在意識が導いていくのです。

人から優しくされたいという願望は、無意識で事故や病気を引き起こし、看病してくれる人を引き寄せようとします。その場合、食事療法などの健康法で病気が良くなってくると、ある時点でそれを放棄し、もとの生活に戻ってしまいます。これを疾病利得といい、潜在意識の無意識の病氣願望を取り除かない限り、根本的な治療は難しいです。

何事もおっくつで、面倒くさいという意識が積み重なると足腰が悪くなり、何をやっても無理！という無力感が募ると、手足が動かなくなることもあります。言いたいことを我慢しているのとどや気管支にトラブルが起り、人に喜びを与えないという意識は、出さない症状の便秘をひどくします。寂しさは悲しみの臓器である肺を病み、肺炎やぜんそくを引き起こします。実際に一人暮らしのお年寄りに肺炎で亡くなる方が多いです。

このように、病気はその人の潜在意識が引き起こして、その人の乗り越える問題を提示してくれていると見ることができます。

病気の改善には、食事法も大切ですが、無意識に埋もれている抑圧された感情をどう処理するかということも大事なのではないでしょうか。

# からだの水はけを改善し不調を取り除く

秋は陰陽五行でいうと肺・大腸系の管理下です。肺は呼吸によってエネルギーを補給したり、体内の水分調節を行っており、大腸は体内で生じた有害物質を便や汗と一緒に排出しています。したがって、肺・大腸系が滞ると水毒が溜まり鼻水やアレルギーが出やすくなります。

また、肺と大腸にはリンパ管が網の目のように張り巡らされています。リンパ管には免疫細胞が存在し、私たちのからだを感染症から守ってくれています。秋から冬にかけて増えてくる風邪やインフルエンザにかからないためにも、肺・大腸系を整え免疫力を高めておきましょう。



### 浅炒り玄米スープの素

300 g 2,160 円 (税込)

1kg 5,940 円 (税込)

玄米の優しい甘みが胃腸に働きかけ、消化吸収を助け体力をつけてくれます。また、程よい苦みが体内の老廃物の排出を促します。煮出したスープは、風邪やインフルエンザで食欲がない時には食事代わりとしてもおすすめです。忙しくて煮出す時間がないときは、保温用のボトルに玄米スープの素と熱湯を入れ1時間以上蒸らしても OK!

### こんな人におすすめ！

むくみがある／足腰が冷える  
手足や顔がほてる／トイレが近い  
胃腸が弱くて太れない／体力がない  
やる気が起きない／疲れやすい  
花粉症／便秘気味／肌荒れがある  
甘い物が止められない

肺・大腸にはリンパ管が集まっているので、油脂の摂り過ぎなどで目詰まりするとさまざまな不調につながります。常にリンパ管の流れをよくしておくことが健康のためにも不可欠！陰陽五行では肺・大腸系に五穀の稲（玄米）を配当します。玄米に含まれるフィチン酸やβシステロールには重金属や化学物質を排泄させる作用があります。



スープをとって残った玄米には食物繊維などが残っているので活用しない手はありません！パンの生地に混ぜたり、クッキーやおやき、お好み焼きに混ぜても美味しいです。

### 肺・大腸系を整える暮らし方

- ・乳製品や油脂類を控える（リンパ管の目詰まりを防ぐ）
- ・白砂糖を使った食べ物を摂らない（リンパ管の目詰まりを防ぐ）
- ・小食と素食、プチ断食（胃腸を休め体の修復/有害物質の排泄）
- ・適度な運動で発汗させる（老廃物の排泄を促す）
- ・発酵食品の活用（腸内環境を整える）
- ・悲観的にならない（肺の弱りにつながる）
- ・肺大腸の食薬（レンコン、大根、玉ねぎ、ねぎ、自然薯、葛、生姜、こんにゃく、皮付きの食べ物）

ムスピの会 HP はこちら

